

## 第3回青森市平和の日等検討委員会 会議概要

【開催日時】平成27年10月5日（月曜日）14時00分～15時51分

【開催場所】青森市役所議会棟4階 第1委員会室

【出席委員】内海隆委員長、加川幸男委員、逢坂巖委員、岩渕久男委員、大坂昭委員、今村修委員、谷崎嘉治委員、野呂一則委員、山田由子委員 《計9名》

【欠席委員】福富美紀委員 《計1名》

【事務局】総務課長 岸田耕司、総務課主幹 太田慎二、総務課主査 三浦章二、総務課主事 牧寛子 《計4名》

### 【会議内容】

#### 1 議事

- (1) 平和の日の制定に関する審議
  - (2) 平和教育の推進及び市民の平和意識の醸成に関する検討
- #### 2 その他

### 【検討委員会議事要旨】

#### (1) 平和の日の制定に関する審議

- ・事務局から配付資料に基づき説明

#### ○委員

平和に関する情報発信について、これまで市としてどの程度発信してきたかが問題であり、市民意識調査の結果を踏まえ、今後どのように取り組んでいくかが大切である。戦後50年の時は副読本を作成したりモニュメントを制作したが、多くの人が情報を知ることができる「発信する力」が必要である。また、子どもたちが同世代に情報発信することも大切である。

#### (1) -① 条例の理念等について

#### (1) -② 「平和の日」の位置づけについて

○委員

青森空襲では 1,000 人以上の方が亡くなったという歴史的事実を重く受け止めた上で恒久平和、生命の尊さについて発信しなければならない。

条例は抽象的な表現になると思うが、他都市の条例のように、平和行政、次世代の子どもたち、資料室といった文言は入れてほしい。

○委員

市民全体が平和の大切さについて考える日にしてほしい。

○委員

なぜ青森空襲が起きたのか、歴史的事実にも触れてほしい。

○委員

広島市や長崎市の式典は市独自の名称を使用し、慰霊や平和宣言を行っている。青森市でも平和の日に、市長が子どもたちに平和について情報発信し、それを受け取った子どもたちが学校で発信するといったことが行われてもよいと思う。その際、子どもたちに何を引き継ぐのか。条例を制定するのであれば起草委員会で条文を検討するのもよいと思う。

○委員

戦没者のことも理念に入れてもらいたい。

○委員

戦争によって残された者たちについても理念に入れてもらいたい。

○委員長

戦没者だけではなく、すべての国民が戦争の被害者であるから、平和宣言が行われている。青森市の条例の特徴を「次世代につなぐ」とするのであれば、戦争によって一つの生命がなくなるということはその後の生命も途絶えるということをおぼろげに忘れてはならない。

(1) -③ 平和の日を浸透させていくための効果的な手法について

○委員

戦争関連の資料について、戦後 70 年経ったから手元から離したいと思う人もいる。そのような資料を保存するとともに展示し、多くの市民、特に子どもたちが気軽に立ち寄ることができる場所が必要である。

戦争関連の資料は、市が呼びかければ、もっと収集できるはずである。

○委員

イベントを行う際は、行政だけで行うのではなく、町（内）会等現場にも声をかけ、現場の人も入れた市民協働のイベントとしてほしい。

また、移動パネル展のように、資料を外へ外へと多くの市民の目に触れるようにしてほしい。

○委員

式典は1日で行うとしても、平和について考える日を1日に限定するのではなく、週間や月間のように期間を設ければ、夏休み前に、子どもたちが主体的な行動をとることができる機会となるのではないか。

○委員

現在は7月28日を中心にして、市や市民団体がバラバラに行事を行っているが、一定の期間に行事を集約することができれば効果的だと思う。

また、青森空襲のパネルを大学に貸し出し、大学祭でパネル展示を行った事もある。

## (2) 平和教育の推進及び市民の平和意識の醸成に関する検討

### (2) -① これからの平和事業への取組について

○委員

社会科の時間でも、東京大空襲は出てくるが青森空襲はなかなか出てこないなので、副読本やビデオを作成してはどうか。

中央市民センターに青森空襲資料常設展示室があるが、学校からセンターへの交通手段がなかなかない。

市でお宅に眠っている資料はないか呼びかけ、資料を収集したとしても保管する場所がない。

○委員

映画などの映像の持つ力はすごいと思う。平和大使にはいろいろな学校で長崎での体験について発表してほしい。

○委員長

展示については、常設にこだわらず、場所と見せ方を検討してはどうか。

常設展示室に常駐ガイドがいなくても、DVDを流しておくだけでも効果的だと思う。

条例化することによって、平和行政を担当する部署が明確になり、情報発信するセクションが一本化される。

## 2 その他

### ○委員

市が今年度から始めた平和大使派遣事業について、今年度は平和大使 4 名であったが、もっと増やしてほしい。

### ○委員

市の体制について、兼務という形ではなく、担当の係をつくって平和事業に取り組んでほしい。

### ○委員

予算の裏付けをきちっととってほしい。

【 会 議 終 了 】